

# まちの日記帳



夏はやっぱりプール  
ジュニア水泳教室  
7/25 7/26 7/27



町内の小学生を対象に、水泳の基礎技術の習得と体力の向上を目指した「ジュニア水泳教室」がB&G海洋センタープールで行われました。

教室には41人の小学生が参加。バタ足などの基礎練習やシノーケリングのほか水辺の安全講習会、ニッパーボードを使ったレクリエーションも行われ、子どもたちは楽しく水に接することができました。

3日間での子ども泳ぎが上達したようで、嬉しそうな表情を見せていました。

ナイスショット連発  
積丹Bチーム3位入賞  
7/26



▲積丹Bチームの皆さん

後志ゲートボール協会が主催する第23回市町村対抗ゲートボール大会が倶知安町で開催され、当町から積丹A(川井順應主将)、積丹B(熊本和子主将)の2チームが出場し、合計16チームが熱戦を繰り広げました。

両チームとも連携のとれたチームワークで日頃の練習の成果を発揮され、ナイスショット連発で決勝リーグへ進出。惜しくもAチームは初戦敗退となりましたが、Bチームは強豪がひしめく中、落ち着いたプレーで第3位と好成績を残しました。

今年も啓発運動を実施  
「ゴミ持ち帰り運動展開中」  
7/26 8/3



海水浴や観光で賑わう町内の海岸線で余市警察署、観光協会、商工会、町の職員など56人が参加して「ゴミの持ち帰りの啓発活動」を展開しました。

参加者は、「ゴミ持ち帰りにご協力をお願いします。」と一人ひとりに呼びかけ、啓発用のポケットティッシュを配布。同時に海岸の清掃活動も実施しました。

年々、「ゴミは減少傾向にあるものの、依然として不法投棄は後を絶ちません。今後、更なる「ゴミの減量化」に皆さんのご協力をお願いします。」

積丹の魅力をPR  
「サップロビアガーデン」  
7/27



積丹観光協会(佐藤勝次会長)は、札幌大通公園で行われているサップロビアガーデンのステージイベントで北海道各地のグルメや観光情報を紹介する『ふるさと北海道応援PRステージ』に参加しました。

ステージでは、神威岬や積丹岬のほか特産品などを映像で紹介。佐藤会長とともに松井町長も積丹の魅力をPRしました。

また、積丹町にちなんだクイズも出題され、正解者3人には「塩水うに」が手渡されるなど、会場は大いに盛り上がりました。

親子で楽しくプール遊び  
B&Gアクアリウム 8/3



親子で水遊びをしながら水に親しんでもらうと、町教育委員会と子育て支援センターが共催する水中での運動教室「B&Gアクアリウム」が海洋センタープールで開催され、8組19人の親子が参加しました。  
教室では、プールいっぱい浮かべられたボールや浮き輪を使っての遊びのほか、音楽のリズムに合わせた運動なども行われ、水しぶきを上げ、元気に遊ぶ子どもたちの姿が見られ、会場は終始賑やかな歓声が響き渡っていました。

札幌北高校吹奏楽部  
サマーコンサートin余別 8/7



札幌北高校吹奏楽部のサマーコンサートが今年も余別小学校を会場に行われました。  
毎年、余別小学校で行われる夏の合宿の地域へのお礼と練習の成果を披露するもので、この日、4日に開催された全日本吹奏楽コンクール札幌地区大会で金賞を受賞した「シヤルロット・グロテスクなもの」のほか、「余別小学校校歌」、「ことりのトトロ」など6曲を演奏。会場を訪れた50人は迫力ある演奏に聴き入り、大きな拍手を送っていました。

短冊に願いを込めて  
保育所で七夕まつり 8/7



父母会が主催する七夕まつりがびくに保育所・子育て支援センターの合同と、みなと保育所でそれぞれ行われました。  
園児たちが折り紙で作った七夕飾りには、「ダンブの運転手になりたい」「おもちゃがほしい」など、思い思いの願い事が書かれた短冊が結ばれ、ヨーヨー釣り、くじ引き、かき氷などの縁日やお化け屋敷に大はしゃぎする園児の姿が見られました。  
まつりの最後は、恒例の花火大会も行われ、楽しい夏の思い出となりました。

自然の息吹を体感  
少年教室で野外体験 8/8



町教育委員会が主催する第3回少年教室が小樽自然の村で開催され、町内の小学生16人が参加し、1泊2日の野外キャンプを体験しました。  
木の枝や葉を使用したクラフト制作、火おこしやビバークの体験のほか、夜にはキャンプファイアーや花火も行われ、子どもたちは目を輝かせ楽しそうに取り組んでいました。  
2日間の活動を通じて、自然の息吹を体感するとともに仲間と協力する大切さを学ぶキャンプとなりました。

▲ビバーク体験 子どもたちが制作したクラフト